

教育委員会からのお知らせ

車山肩～八島ヶ原高層湿原 自然観察会 にご参加ください



日 時：8月28日（土）午前7時 総合文化センター前出発（貸切バスで移動）
 定 員：80名（町内在住の方を優先します） 参加費：500円（保険料・資料代等）
 内 容：今年は車山肩～物見石～八島ヶ原湿原のルートを、自然保護指導員・自然解説員の説明を聞きながらトレッキングします。
 申込み：参加費を添えて、8月18日（水）までに直接下記窓口へお越しください。
 問合せ：下諏訪観光協会（役場3階） ☎27-1111（内線330）
 下諏訪町教育委員会 生涯学習係（文化センター内） ☎27-1111（内線718）
 ※ 詳しい内容については、班回覧のチラシをご覧ください。

町民大学 一下諏訪を学ぶ一

演 題：^{しちみや}「下宮の山城」 講 師：長野県文化財保護協会諏訪支部長 宮坂 武男
 日 時：8月22日（日） 午後1時30分～午後3時 会 場：文化センター集會室
 戦国の時代、諏訪地方には上社の^{じんし}神氏の系統の諏訪氏に対して、下社の^{かなさし}金刺系の諏訪氏を中心としたその分派の氏族が割拠して、多くの山城が造られ、抗争が繰り返された。
 下諏訪町には、金刺氏にかかわる幾つかの城跡があり、山の中には忘れられたように残っている。それらの城跡を紹介し、下宮の歴史を振り返ってみたい。

町民総合文化祭 参加団体募集

参加申込用紙は文化センター内 公民館窓口にあります。お待ちしております。

	開催日	申込締切	対象者
作品展	10月1日（金）～ 10月3日（日）	8月31日（火）	町民および町内の 各種団体・学校 ☆新規参加団体歓迎
芸能祭	10月3日（日）		
音楽祭	11月7日（日）	9月30日（木）	

<問合せ・申込先> 下諏訪町公民館 28-0002

生でおん柱を見た！

花田養護学校五年 市川 秀



ぼくは、四年生の時、社会でおん柱の勉強をしました。その時、「木落し」や「川ごし」のビデオを見ました。柱が山から落ちる場面では、男の血がさわぎました。

五月十日、先生たちや友だちと春宮のたておん柱に行きました。春宮に行く、前の日にたてた柱にさわってみました。長くて、つるつるしていて、がんばりようで、冷たいと思った柱はぬるかったです。

うらから「よいさ、よいさ」のかけ声が聞こえてきました。先生が、近くの人から「うき島に行くよ、たておん柱が見られるよ」と聞いてきました。そこ

で、行ける人だけ行くことになりました。

車いすで移動していくと、ラッパの音や「よいさ、よいさ」の声がだんだん大きくなって、わくわくしました。見物の人たちが「ここからよく見えるよ」と、場所をゆずってくれました。

時間をかけてゆつくりと、柱が立っていきました。じっと見ていると、きげんと向き合いますが、「柱にのるんだ！」とかくの上で乗っている氏子の人たちの、熱い気持ちが伝わってきました。それは、千年以上続いている七年に一度のお祭りだから、そのような気持ちになるのだと思いました。

木と木の間から見えていた柱は、見え方がだんだんと変わっていききました。それで、ぼくたちは少しずつ場所を移動しながら見ました。



おん柱にさわったよ！

気がつくと、十一時半近くになっていました。本当は、氏子の人たちが、柱から下りてくる所まで見ていたかったのですが、帰る時間です。とちゅう、せまい橋をわたる時に、観光客の二人の男の人が、ぼくが来るのを待っていてくれ、だんさのある所で車いすを持ち上げてくれました。うれしかったです。

おん柱は、そうぞう以上に人が多かったですけれど、生で見るとおん柱はすごかったです。「ぜつたい柱にのるんだ」という、すごいかが伝わってきました。七年後、ぼくは高校生。その時また、生で見たいです。

花田養護学校は、肢体不自由児童生徒の特別支援学校です。小学部の教科学習グループでは、地域学習として「おん柱」について、映像や本などで学習してきました。

建御柱最終日、みんなで車イスで春宮に出かけました。観光客の人たちとひとっしょに固唾をのんで見るなかで、子どもたちは学習と関連させながら、祭りのおもみや緊張感を、肌で感じることができました。また、各所で、見ず知らずの人たちから温かい手を差しのべていただき、周りの方の思いやりや関わりに触れながら、7年に1度めぐってくる大祭を、心から楽しむことができました。（担任：矢島ほづみ）